

新しい教育長が決まりました



福地憲司教育長

福地氏は早稲田大学卒業後、船引町立移中学校（現田村市立移中学校）に赴任。相馬市立向陽中学校の教諭として3年間勤めたほか、伊達市教育委員会、福島市教育委員会の参事を経て、福島市立福島第四中学校校長を務めました。

【教育長辞令交付式】

市教育委員会教育長の辞令交付式は4月27日、市役所で行われ、福地新教育長が出席しました。

辞令交付のあと、立谷市長より「新型コロナウイルス対策をはじめ、いろいろな課題があるが、経験と人徳をもつて、適切な対応をしてもらいたい」と訓示がありました。福地教育長の任期は堀川利夫前教育長の任期を引き継ぎ、令和5年1月4日までです。

医療崩壊防止の一助
一般財団法人タケエイSDGs推進財団

サージカルマスクの寄贈は4月30日、市役所で行われ、齋藤欣一株式会社タケエイ経営企画部相馬事業所開設準備室管理役が訪れました。

寄贈は、同財団が調達したサージカルマスクの一部を、本市の医療崩壊防止の一助とするため行われたもの。

齋藤管理役は「新型コロナウイルス感染症対策として活用ください」と述べ、立谷市長にマスクを手渡しました。いただいた約1万枚のサー



ジカルマスクは、市内の医療機関約40カ所に配布しました。

児童生徒の家庭に配布
清掃用消毒液

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための清掃用消毒液配布の準備作業は4月14日、市防災備蓄倉庫で行われ、市職員やPTA関係者ら約10人が作業を行いました。同ウイルスの感染拡大によりアルコール消毒液が不足していることから、家庭内での消毒に活用してもらうことを目的に実施。

清掃用消毒液は「次亜塩素酸ナトリウム水溶液」を水で薄めたもので、市防災備蓄倉庫に備蓄していた水を使い2リットルペットボトル入り消毒液約580本、後日4、300本を準備し、市内の全小・中学校に通う児童生徒の家庭に配布しました。

市内の児童・生徒、園児に布製マスクを配布
市立学校PTA連絡協議会

5月7日、山中宣明市立学校PTA連絡協議会会長と木幡洋平同協議会副会長の2人



が中村第一小学校を訪れ、午来勝頭相馬市立小中学校校長会会長に布製マスクを手渡しました。

同協議会は、市から加工賃の助成を受けて、株式会社福装21にマスクの作製を依頼し、市内の児童・生徒、園児に配布する7、000枚の布製マスクを用意しました。

マスクを受け取った午来会長は「子どもたちの感染防止に役立てます」と感謝の言葉を述べました。

コロナウイルス対策へ活用
飛沫防止パネルの寄贈

阿部正信株式会社キョウエイ会長は4月27日、市役所を訪れ、同社が製造したアクリル飛沫防止パネルを佐藤芳男総務課長に手渡しました。

本市出身である阿部会長は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことを目的として飛沫防止パネルを3枚寄贈。

パネルを受け取った佐藤課長は「庁舎内の感染拡大防止に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。



いただいた飛沫防止パネルは、法律相談などで活用しています。

医療従事者へ激励の メッセージ

中一生徒会

中村第一中学校生徒会による医療従事者への激励メッセージ贈呈は4月30日、保健センターで行われ、同生徒会から佐藤晃太生徒会長、佐藤菜々香同副会長、針生均志同副会長、相馬郡医師会から米村浩幸同会相馬支部長が出席しました。

同生徒会は、新型コロナウイルス感染症に最前線に対応する医療従事者のため、生徒会役員らの手書きのメッセージなどを作成。

メッセージを受け取った米村支部長は「地域医療を守るためがんばります」と生徒たち感謝の言葉を述べました。



「食」と「農」に関心を

J Aふくしま未来

副読本「農業とわたしたちの暮らし」の贈呈式は4月16日、市役所で行われ、西幸夫ふくしま未来農業協同組合とうま地区本部地区本部長兼地域支援担当部長ら3人が訪れました。

J Aによる同教材は、「食」を生み出す農業の仕組みなどが分かりやすく説明されている補助教材で、食農教育の推進などを目的に平成20年度から毎年贈呈されています。

西本部長は「この教材を食



農教育に活用ください」と述べ、神戸伸一教育部長に教材を手渡しました。

市民と市をつなぐ

新任区長委嘱状交付式・退任区長感謝状贈呈式

新任区長委嘱状交付式は4

月24日、市役所で行われ、新任区長ら13人が出席しました。

式で立谷市長は、新任区長を代表して菊地利宗大野第7行政区区長に委嘱状を手渡し「区長は地域住民と市役所のインターフェースであり、市民から慕われる存在として協力よろしく願います」とあいさつしました。

同日、退任した区長へ感謝状が贈呈され、立谷市長はこれまでの尽力に対し、感謝の

言葉を述べました。



子どもたちの体力維持 縄跳びジャンプ台 の寄贈



縄跳びジャンプ台の寄贈式は5月10日、飯豊小学校で行われ、飯豊小学校PTA役員ら3人が訪れました。

飯豊小学校PTAは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休校の長期化による子どもたちの体力低下を防ぐことを目的としてジャンプ台を寄贈。

ジャンプ台は、市内企業から資材の提供を受け、飯豊小学校PTA役員と有志ら約10人が作製したもので、縄跳びの際に楽にジャンプを行えるようにするものです。

子どもたちは縄跳びジャンプ台を利用して、楽しそうに3重跳びなどを披露しました。

布製マスクを寄贈 ソーイング・リヴ

5月13日、五十嵐拓也有限公司ソーイング・リヴ専務取締役が市役所を訪れ、佐藤憲男副市長に布製マスク360枚を手渡しました。

寄贈いただいたマスクは、ヘンプ繊維（調湿性、抗菌性、消臭性に優れた天然素材で、何回洗っても傷みにくい耐久性がある繊維）を使用し、同社が作製したもの。

マスクを受け取った佐藤副市長は「寄贈ありがとうございます。大切にに使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

いただいたマスクは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として活用します。

